

資料提供  
 令和4年6月30日  
 課名 新型コロナウイルス感染症対策担当  
 (感染症・疾病管理センター)  
 担当者 西川  
 電話(直通) 082-513-3068  
 (内線) 3068

## 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

( 令和4年6月解析分 )

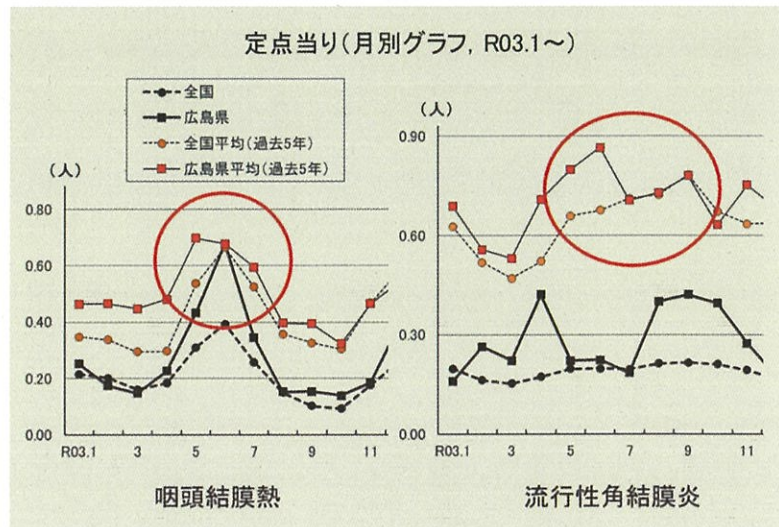
### 1 今月のトピックス

■ 夏期はアデノウイルスが原因の感染症が流行する時期です。

咽頭結膜熱(プール熱), 流行性角結膜炎(はやり目)などは, アデノウイルスの感染によって引き起こされる感染症です。

通常, 夏期に地域全体で流行し, 5月頃から徐々に増加しはじめ, 6~9月にピークを形成します。広島県においても, 例年, 夏期に増加傾向にあります。特に, 令和3年6月における, 咽頭結膜炎の定点当たりの報告数は, 0.68(全国:0.39)と高い数値を示しました。

これらの感染症は, 感染力が非常に強いいため, 夏期の連休等で外出する機会が増える際は, 注意が必要です。



### ■ アデノウイルスとは？

【特徴】 51種類の血清型および52型以降の遺伝子型があり, A~Gの7種類に分類される。多くのアデノウイルスの体内潜伏期間は5~7日である。

【主な病態】 咽頭結膜熱, 流行性角結膜炎, 感染症胃腸炎, 急性呼吸器感染症など

病名	咽頭結膜熱(プール熱)	流行性角結膜炎(はやり目)
症状	発熱で発症し, 頭痛, 食欲不振, 全身倦怠感とともに, 咽頭炎による咽頭通, 結膜炎に伴う結膜充血, 眼痛, 流涙, 眼脂を訴え, 3~5日間程度持続します。	潜伏期間は, 8~14日である。急に発症し, 眼瞼の浮腫, 流涙を伴う。感染力が強く, 両側で感染しやすいが, 初発眼の症状がより強い。耳前リンパ節の腫脹を伴う。新生児や乳幼児では, 偽膜性結膜炎を起こし, 細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすことがあるので注意する必要があります。
感染経路	<b>プールを介した場合には, 汚染した水から結膜へ直接進入が考えられます</b> が, それ以外では, 通常手指を介した <b>接触感染</b> , 咳やくしゃみ等による <b>飛沫感染</b> によります。	通常手指を介した <b>接触感染</b> です。

### 34 アデノウイルスによる感染症を予防するには？

出典: 国立感染症研究所ホームページ



1. 感染者との密接な接触は避け, 『石鹸を使用した手洗い』, 『うがい』を行きましょう。(アデノウイルスは, アルコールによる消毒効果は, 弱いです)
2. プールや温泉施設を利用する際は, 前後にシャワーを必ず浴び, タオルの共用は, 避けましょう。
3. ドアノブや手すり, イス, 机など, 人が良く触れる箇所を清潔に保ちましょう。



広島県 感染症発生状況

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 4年 5月分(令和4年5月2日～令和4年6月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	0.00	0.14		10	ヘルパンギーナ	12	0.03	0.17	↓
2	RSウイルス感染症	36	0.10	0.38	↘	11	流行性耳下腺炎	15	0.04	0.20	↗
3	咽頭結膜熱	134	0.37	0.63	↑	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	0.19	1.71	↗	13	流行性角結膜炎	29	0.31	0.67	↗
5	感染性胃腸炎	1,590	4.42	5.09	↗	14	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	20	0.06	0.18	↓	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	63	0.18	0.83	↓	16	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.04	
8	伝染性紅斑	3	0.01	0.10		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	125	0.35	0.38	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.58	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 4年 5月分(5月 1日～5月 31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	71	3.09	2.72	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	55	2.62	2.94	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.82	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.21	
21	尖圭コンジローマ	21	0.91	0.64	→	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
22	淋菌感染症	41	1.78	0.95	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

**急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)**

○急増疾患 咽頭結膜熱 (0.15 → 0.37)  
○急減疾患 手足口病 (0.39 → 0.18)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	25	結核(25)〔広島市保健所(8), 呉市保健所(1), 福山市保健所(5), 西部保健所(2), 東部保健所(5), 西部東保健所(1), 北部保健所(3)〕
三類	15	腸チフス(1)〔福山市保健所(1)〕 腸管出血性大腸菌感染症(14)〔西部保健所(14)〕
四類	27	つつが虫病(1)〔北部保健所(1)〕 レジオネラ症(12)〔広島市保健所(5), 呉市保健所(2), 福山市保健所(2), 西部保健所(3)〕 重症熱性血小板減少症候群(3)〔呉市保健所(3)〕 日本紅斑熱(11)〔呉市保健所(2), 福山市保健所(2), 西部保健所(1), 東部保健所(6)〕
五類	58	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所(1), 東部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(3)〔呉市保健所(1), 広島市保健所(1), 北部保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔福山市保健所(1)〕 急性弛緩性麻痺(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)〕 水痘・入院例(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(47)〔広島市保健所(37), 福山市保健所(4), 呉市保健所(3), 西部保健所(2), 東部保健所(1)〕
新型インフルエンザ等感染症	30,251	新型コロナウイルス感染症(30,251)〔広島市保健所(16,017), 福山市保健所(4,475), 呉市保健所(2,198), 西部保健所(3,500), 西部東保健所(1,969), 東部保健所(1,582), 北部保健所(510)〕